加藤 由崇 KATO Yoshitaka

教員の教育・研究活動報告

役職／職名	准教授	所属	外国語学部 英米語学科
ふりがな	かとう よしたか	生年	
学歴	広島大学 教育学部 第三類 英語文化系コース 卒業（2011年） 京都大学大学院 人間・環境学研究科 共生人間学専攻 修士課程 修了（2013年） 京都大学大学院 人間・環境学研究科 共生人間学専攻 博士課程 研究指導認定退学（2014年）		
学位	学士（教育学）広島大学 修士（人間・環境学）京都大学 博士（人間・環境学）京都大学（2017年）		
研究分野	応用言語学・英語教育		
研究テーマ	英語教師研究（特に探究的実践）、協同学習・協調学習、タスクと基の言語教育（TBLT）		

主な研究業績

著書

題名	単・共	発行日	発行所名	備考
A new approach to English pedagogical grammar: The order of meanings	共	2018年1月	Routledge, UK	Tajino, A. 場署 担当：Chapter 14 Voice from "practitioners": A collaborative exploration of MAP Grammar in an EFL classroom (pp. 160-171)
A systems approach to language pedagogy	共	2019年4月	Springer Nature, Singapore	Tajino, A. 場署 担当：Chapter 9 Interaction in the language classroom: A systems approach (pp. 121-132)
コミュニケーション・タスクのアイデアとマテリアル―教室と世界をつなぐ英語授業のために	共	2020年12月	三修社, 東京	加藤由崇・松村昌紀・Paul Wicking 編著 横山友里・田村知・小林真実 著
英語授業学の最前線	共	2020年12月	ひつじ書房, 東京	一般社団法人大学英語教育学会（JACET）・濱川和信・田地野彰・小田眞幸 編 加藤由崇 執筆 担当（翻訳）：第1章 直読教育における英語教師研究の再考 (pp. 1-23)
明日の授業に活かす「意味理」英語指導―理論的裏付と授業実践	共	2021年6月	ひつじ書房, 東京	田地野彰 編著 担当：第11章 英語に習字意識を向くべき学生を対象とした「意味理」指導―学習・指導を支える思考ツール (pp. 263-286)
英語教材の最前線	共	2024年6月	ひつじ書房, 東京	一般社団法人大学英語教育学会（JACET）・原隆幸・渡辺敦子・村上裕美・石川吉郎 編 担当：英語の教科書は誰のものか―「私」の作成と使用に関わる主体の再定義 (pp. 127-142)
English Language Teaching: Current Issues and Future Prospects I — Voices of Practitioner Researchers in Japan	共	2026年4月	Springer Nature, Singapore	Tajino, A. 場署 担当：Exploratory Practice: A review and insights from practice in Japan (pp. 283-297)

学術論文

題名	単・共	発行・発表日	発行雑誌又は発行学会等の名称	備考
母語を活用した英語指導―高校の英作文授業における「意味理」の効果検証	共	2012年3月	Studies in English Teaching and Learning in East Asia, 4, pp. 33-49 (大学英語教育学会(JACET)アジア英語教育研究会)	渡真志、細越優子、加藤由崇、金丸敏幸、高橋幸、田地野彰
タスク反復を採用したスピーキング指導	単	2013年2月	2012年度 英語の授業実践研究―TOEFLのための自発的英語学習法, pp. 38-45 (京都女子大学語彙交流センター)	細越優子、川西陽、加藤由崇
TOEFLクラスにおける講師間連携のための一リーディングクラスを事例に	単	2014年2月	2013年度 英語の授業実践研究―TOEFLのための自発的英語学習法, pp. 9-20 (京都女子大学語彙交流センター)	細越優子、川西陽、加藤由崇
協調学習を活用したスピーキング指導	単	2014年2月	2013年度 英語の授業実践研究―TOEFLのための自発的英語学習法, pp. 40-51 (京都女子大学語彙交流センター)	
学習者の共同を活かしたスピーキング指導	単	2015年2月	2014年度 英語の授業実践研究―TOEFLのための自発的英語学習法, pp. 29-37 (京都女子大学語彙交流センター)	
Cooperative and collaborative learning in the language classroom	共	2015年3月	The Language Teacher, 39(2), 22-26 (2役職) （全国語学教育学会）	Kato, Y., Bolstad, F., & Wetari, H
What do we want small group activities for? Voices from EFL teachers in Japan	単	2016年2月	TESL-EJ, 19(4), 1-15 (英語教育に関するオンライン国際誌)	
Transcription and proof-listening: Investigating effective speech reflection	単	2016年3月	JACET International Convention Selected Papers, 2, 24-40 （一般社団法人大学英語教育学会）	
英語の授業における一斉回学習―協同と協調に基づく指導方針の提案	単	2016年3月	2015年度 英語の授業実践研究, pp. 59-68 (京都女子大学国際交流センター)	
異大連続和語としての英語授業―中部大学と春日丘高校の事例から	単	2019年3月	中部大学リベラルアーツ論集, 1, 38-47	
これからの大学英語教材の在り方―教師と出版社による新たな協働の可能性	共	2019年3月	JAAL in JACET Proceedings, 1, 52-56 (2役職) （日本応用言語学会）	加藤由崇、小川洋一郎
Cooperative or collaborative: How does the division of labor influence learner-learner interactions?	単	2022年3月	JACET Journal, 66, 57-74 (一般社団法人大学英語教育学会)	
英語の授業における教育タスク―「タスク教材集」の開発経緯と活用方法	単	2022年3月	KELES Journal, 7, 30-37 (関西英語教育学会)	
Learner-initiated exploratory practice: Revisiting curiosity	単	2022年10月	ELT Journal, 76(4), 421-431 (Oxford University Press, UK)	Kato, Y., & Hanks, J.
英語教育における探究的実践―「私」と「私たち」を主語とする問いの比較	単	2023年3月	中部大学リベラルアーツ論集, 5, 9-28	
「問い」から始めるリベラルアーツの授業―3年間の授業実践を終えての成果と課題―	共	2024年12月	中部大学教育研究, 24, 47-54	寺井 一、加藤由崇
Puzzles in exploratory practice: The role of why questions	単	2025年11月	Language Teaching Research, 29(6), 3315-3338	
A bird's eye view of English grammar: Connecting the dots in two dimensions	共	2026年1月	TESOL Quarterly. Advance online publication.	Tajino, A. & Kato, Y.

主な教育上の業績

作成した教科書

教科書名（対象講義名）	単・共	年月	備考
Welcome to NIPPON!—Building International Friendships（朝日出版社、東京）	共	2018年1月	田地野彰 監修 石井洋佑、加藤由崇、中川浩 著
英検2級 マスターコース リニューアル問題対応（金星堂、東京）	共	2018年1月	今村文彦、野田重紀、西村賢、加藤由崇、Gregory A. King、David Laurence、Brian Wistner 著
はじめてのアカデミックライティング―A Guide to English Academic Writing for Beginners（朝日出版社、東京）	共	2020年1月	田地野彰 監修 マスフォルケ文子、加藤由崇、渡真志、山田浩 著
Welcome to NIPPON!—Building International Friendships [revised edition]（朝日出版社、東京）	共	2022年1月	田地野彰 監修 石井洋佑、加藤由崇、中川浩 著
CREATIVE English Communication I（第一学習社、広島）	共	2022年1月	文部科学省検定済教科書
Getting Things Done [Book 1]（三修社、東京）	共	2022年2月	Paul Wicking・田村知 編著、加藤由崇・小林真実・松村昌紀・横山友里 著
CREATIVE English Communication II（第一学習社、広島）	共	2023年1月	文部科学省検定済教科書
Getting Things Done [Book 2]（三修社、東京）	共	2023年2月	田村知・Paul Wicking 編著、横山友里・松村昌紀・小林真実・加藤由崇 著
CREATIVE English Communication III（第一学習社、広島）	共	2024年1月	文部科学省検定済教科書
小学生から知っておきたい英語のリアテ（リサーチ出版、東京）	共	2024年3月	田地野彰 編著 加藤由崇・川澄沙和・荻原彰子・高橋佑哲・八ツフシー恵子・山田浩 著 ウゃんよ 絵
英検2級サクセスパス（金星堂、東京）	共	2025年1月	今村文彦、西村賢、加藤由崇、和田玲英、Gregory A. King、David Laurence、Brian Wistner 著
Welcome to NEW YORK!—American Life and Culture（朝日出版社、東京）	共	2025年1月	田地野彰 監修 加藤由崇、中川浩、John Andrea Molinar 著
CREATIVE: English Communication I, NEW EDITION（第一学習社、広島）	共	2026年3月	文部科学省検定済教科書

所属学会

所属学会名称

所属学会名称
一般社団法人大学英語教育学会（JACET）
全国英語教育学会（JASELE）
日本応用言語学会（JASCE）

所属学会役員歴等

所属学会及び役職名	期間（年月）	備考
大学英語教育学会、セミナー事務委員	2016年 - 2022年	
大学英語教育学会、研究促進委員	2018年 - 現在	
大学英語教育学会、JACET創立60周年記念ウィーク特別委員会（Proceedings担当チーフ）	2019年 - 2020年	
大学英語教育学会、学術出版物編集委員	2023年 - 現在	

受賞学術賞

受賞事項	年月	備考
大学英語教育学会賞（新人発表部門）	2014年8月	
大学英語教育学会賞（新人論文部門）	2015年8月	
大学英語教育学会賞（学術出版部門）	2020年8月	

科学研究費等外部資金採択実績

名称	題名	機関名（採択時）	年度	備考
科研費　若手研究	外国語教育における「探究的実践」に基づく英語教師研究モデルの構築	中部大学	2020年4月 ～2023年3月	研究代表者